

自動遺伝子検査装置 TRCReady-80 の紹介

○斎藤 寿一 (東ソー株式会社)

【はじめに】

核酸増幅検査法は、高感度・迅速という特徴から様々な分野において広く実施されるようになりました。特に、細菌検査においては培養困難な細菌の迅速な検出・同定のために有用であることは言うまでもありません。弊社は、一定温度一段階で標的 RNA を複製・増幅すると同時に増幅 RNA のリアルタイム検出を行う TRC (Transcription - Reverse transcription Concerted reaction) 法を開発し、それを原理とした迅速・高感度な TRCRapid システムを 2005 年に上市しました。しかし、昨今の遺伝子検査に対する簡便化・自動化の要求は大きく、新たに核酸精製から核酸増幅・検出の工程を自動化した自動遺伝子検査装置 TRCReady-80 を開発・上市しましたので、今回その特長について紹介をいたします。

【装置概要】

測定モード：① 増幅+検出 (約 40 分)、② 検出 (約 30 分)

処理能力：8 テスト/バッチ

検体架設：最大 8 検体 (2 台同時制御時 最大 16 検体)

蛍光測定：3 波長同時測定

外形寸法(コントローラー部除く)：350(W)×600(D)×600(H) / 47kg



TRCReady-80 工程 概要

【特長】

- 核酸精製、核酸増幅・検出の各工程を自動化。核酸精製から結果報告まで約 40 分。
- 試薬：1 テスト毎包装。事前の試薬調製や分注は不要。試薬の無駄なく検査可能。
- 内部コントロール同時測定により偽陰性リスク低減。
- 増幅産物による環境汚染のリスク低減。

【試薬項目】

- 結核菌群 rRNA 検出試薬
- MAC rRNA 検出試薬：アビウム・イントラ セルラー鑑別可能



資料請求先：東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部
TEL. 03-5427-5181